

非対称的通勤費用下における空間構造の決定

後藤 啓*

2012年4月23日

概要

本稿では通常のNEGの二地域モデルに土地の消費と通勤費用を導入することで、都市間における財の輸送費用と都市内における労働者の通勤費用が空間構造に与える影響を分析した。それにより空間構造が都市間の通勤費用の差に強く依存していることが分かった。特に、集積力が強い時は、通勤費用の高い都市に人口が集中する可能性があるが、このときは都市間の通勤費用の差が拡大することで、劇的に空間構造が変化することが示される。また、一つの都市だけによる通勤技術の改善は、人口の流入を通じて技術が改善した都市の人口密度を上昇させる可能性があるが、二つの都市が同時に通勤技術を改善した場合、すべての都市で人口密度が低下することが示される。

Keywords: ; 通勤費用; 輸送費用; 空間構造

JEL classification: R13; R14; R30

* 神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程 E-mail : hrs.9-12.gt.o.jp.ml@hotmail.co.jp